

平成29年度当初予算案の概要

平29年2月6日

予算の特徴

- ◆ 市長2期目スタートの予算
 - ・新病院建設事業費 ⇒ 平成30年4月開院のための整備費
 - ・桑名駅自由通路整備事業費 ⇒ 5年間の継続費を設定し、本格着手
 - ・待機児童対策 ⇒ 保育所内にある子育て支援センターをショッピングモール内などに移転して利便性を高めるとともに、公立保育所の0歳～2歳児の定員を51名増加する。
 - ・ポストジュニア・サミット関連⇒ 昨年のジュニア・サミットの開催により醸成された国際化への気運を継続させるため、産業観光の振興、英語教育の推進に取り組む。

予算の規模

- ◆ 平成29年度の一般会計の当初予算は、平成28年度対比で **10.9億円 2.1%増の528.8億円**（過去最大規模の予算）

※ 新病院開院に向けた整備のための出資金・貸付金 35.8億円

予算規模の推移

(単位：千円)

年度	H19 当初	H20 当初	H21 当初	H22 当初	H23 当初	H24 当初
予算額	47,586,761	46,116,225	41,682,149	45,066,253	45,059,881	44,596,947
増減率	1.5%	▲3.1%	▲9.6%	8.1%	0.0%	▲1.0%
年度	H25 当初	H25 当初+6月	H26 当初	H27 当初	H28 当初	H29 当初
予算額	44,139,430	46,985,069	47,656,205	50,258,277	51,792,795	52,884,191
増減率	▲1.0%	※1 5.4%	※2 1.4%	5.5%	3.1%	2.1%

※1 H25 当初が骨格予算のため、H24 当初に対する増減率

※2 H25 当初が骨格予算のため、H25 当初+6月（肉付け補正後）との比較

◆ 各会計の当初予算規模 (単位：千円)

区分	予算額	前年度比
一般会計	52,884,191	2.1%
特別会計	39,298,466	22.3%
企業会計	13,640,908	9.3%
総計	105,823,565	9.8%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 5.3 億円、2.6% 増の 212.5 億円
 - 市民税 101.2 億円 (H28 97.4 億円、4.0%)
 - 個人 87.4 億円 (H28 86.4 億円、1.2%)
 - 法人 13.8 億円 (H28 11.0 億円、25.6%)
 - 固定資産税 88.9 億円 (H28 87.5 億円、1.6%)
 - 土地 (現年) 32.8 億円 (H28 33.4 億円、▲1.8%)
 - 家屋 (現年) 36.7 億円 (H28 35.5 億円、3.5%)
 - 償却 (現年) 18.1 億円 (H28 17.3 億円、4.7%)

地方交付税及び臨時財政対策債の状況

- ◆ 地方交付税は、合併算定替を考慮し前年度対比で 4.5 億円、9.3%減の 44.0 億円
 - 普通交付税 36.0 億円 (H28 40.5 億円、▲11.1%)
 - 特別交付税 8.0 億円 (H28 8.0 億円、0.0%)

- 臨時財政対策債 18.5 億円 (H28 21.5 億円 ▲14.0%)
- 地方交付税 + 臨時財政対策債
62.5 億円 (H28 70.0 億円、▲10.7%)

繰入金の状況

- ◆ 繰入金は、前年度対比で 10.8 億円、81.6%増の 24.0 億円
 - 財政調整基金 18.0 億円 (H28 10.0 億円、+80.0%)
 - 平成 28 年度末 財政調整基金残高見込み 36.1 億円
 - 平成 29 年度末 財政調整基金残高見込み 18.1 億円

繰越金の状況

- ◆ 繰越金は、前年度対比 4.0 億円、80.8%減の 1.0 億円

市債の状況

- ◆ 市債は、前年度対比で 9.7 億円、11.8%減の 72.8 億円
 - 合併特例事業債 53.3 億円 (H28 33.2 億円、60.3%)
 - 臨時財政対策債 18.5 億円 (H28 21.5 億円、▲14.0%)

発行額の推移

	H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初	H27 当初	H28 当初	H29 当初
一般会計	39.5億円	49.9億円	52.1億円	73.0億円	82.5億円	72.8億円
うち臨財債	25.0億円	25.0億円	27.0億円	26.0億円	21.5億円	18.5億円

年度末市債残高の推移

	H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 決算見込	H29 予算
一般会計	516.8億円	519.7億円	531.2億円	547.2億円	564.6億円
うち臨財債	217.3億円	235.5億円	246.8億円	250.3億円	252.0億円

義務的経費の状況

- ◆ 義務的経費は、前年度対比で 6.8億円、2.7% 増の 258.7億円
 - 人件費 95.3億円 (H28 95.5億円、▲0.2%)
 - 扶助費 103.5億円 (H28 99.0億円、 4.5%)
 - 公債費 59.9億円 (H28 57.3億円、 4.5%)

公債費の推移

	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計	53.5億円	55.2億円	56.6億円	57.3億円	59.9億円

投資的経費の状況

- ◆ 投資的経費は、前年度対比で 8.7億円、23.9%増の 45.1億円

投資的経費の推移 (下の行は対前年度比)

H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初	H27 当初	H28 当初	H29 当初
17.3億円	39.5億円	32.1億円	53.4億円	36.4億円	45.1億円
▲35.4%	47.5%	▲18.8%	66.9%	▲31.9%	23.9%

その他の経費の状況

- ◆ その他経費は、前年度対比で 4.6億円、2.0% 減の 225.1億円
 - 物件費 75.6億円 (H28 74.1億円、 1.9%)
 - 維持補修費 4.0億円 (H28 5.0億円、 ▲20.6%)
 - 補助費等 65.5億円 (H28 93.9億円、 ▲30.2%)
 - 積立金 7.0億円 (H28 6.4億円 8.2%)
 - 投資及び出資金 31.3億円 (H28 9.4億円、 232.0%)
 - 繰出金 40.6億円 (H28 39.7億円、 2.3%)
 - その他 (貸付金 1.0億円、予備費 0.2億円)

その他の財政指標

- ◆ 一般財源総額 328.7億円 (H28 327.9億円、 0.2%)
- ◆ 一般財源比率 62.2% (H28 63.3%、 ▲1.1ポイント)
- ◆ 地方債依存度 13.8% (H28 15.9% ▲2.1ポイント)

平成 29 年度当初予算主な事業

1 全員参加型の市政の実施

- ◆ **男女共同参画基本計画策定事業費** 【新規】 487.5 万円 **《総務費》**
平成21年に策定した現計画が平成30年度末で終了することから、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、新たな計画を策定する。
【債務負担行為設定】

- ◆ **地域コミュニティ推進事業費** 【新規】 120.6 万円 **《総務費》**
平成 30 年 4 月の各地区市民センターの機能転換に向けた準備を行うとともに、新しい地域コミュニティ組織（仮称）まちづくり協議会の設立をめざした啓発や研究を行う。

2 納税者の視点で責任ある財政に

- ◆ **ふるさと応援寄附推進事業費** 【継続】 1 億 6,806.2 万円 **《総務費》**
ふるさと納税に対する記念品を充実させ、本市のブランド力の向上、地域経済の活性化を図る。
- ◆ **統一的な基準による地方公会計整備費** 【継続】 500 万円 **《総務費》**
平成 28 年度決算について、統一的な基準による地方公会計制度に基づく連結財務書類等の作成を国から求められているため委託料を計上する。

3 命を守ることが最優先

- ◆ **新病院整備事業関係費** 【継続】 137 億 8,544.9 万円 **《衛生費》**
新病院整備に向けた経費を、財源等に応じて 2 会計に計上

一般会計

病院整備費	31 億 2,500 万円	(合併特例事業債)
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計		
事業統合費等貸付金	98 億 2,331 万 8 千円	(病院事業債 93 億 7,480 万円) (繰入金 4 億 4,851 万 8 千円)
事業統合費等交付金	8 億 3,713 万 1 千円	(地域医療再生臨時特例交付金)

【債務負担行為設定】

- ◆ **福祉総合相談事業費** **【新規】 1,578.6万円** *《民生費》*
 大山田コミュニティプラザ内の会議室の一部に、障害や子育て等、複雑化する福祉分野の総合相談窓口を設置する。

- ◆ **森忠地区道路改良事業費** **【新規】 3,285万円** *《土木費》*
 近年多発するゲリラ豪雨等による浸水常襲地域である森忠地区に雨水管を整備することにより、浸水被害を軽減し、安全・安心な生活基盤の提供を図る。

- ◆ **江場中野小貝須線** **【新規】 2,400万円** *《土木費》*
 近年多発するゲリラ豪雨等により、道路側溝が溢れ、道路冠水が頻発している地域の排水機能を増強し道路交通の安全を図る。

- ◆ **防災行政無線整備費** **【継続】 3億2,204.3万円** *《消防費》*
 災害時に市民の生命財産を保護するため、災害情報の収集・伝達手段として効果的なデジタル同報系行政無線を整備する。

【継続費設定】

4 こどもを3人育てられるまち

- ◆ **学童保育所整備事業費** **【新規】 558.7万円** *《民生費》*
 学童保育所の利用者が増加している大山田東小学校区において、現在学校外にある学童保育所を小学校敷地内に整備する費用を計上する。

- ◆ **待機児童対策事業費補助金** **【継続】 7,334.2万円** *《民生費》*
 待機児童対策として、私立保育園の低年齢児保育に事業補助を行い、低年齢児の受入数の拡大を図る補助金を計上する。

- ◆ **地域子育て支援拠点整備費** **【新規】 2,459.2万円** *《民生費》*
 イオンモール桑名2番街1階に地域子育て支援拠点を設置し、子育て全般に関する専門的な支援を行う。

【債務負担行為設定】

- ◆ **病児保育事業費** **【新規】 1,515.6万円** *《民生費》*
 病児保育施設の不足に対応するため、民間事業者による施設の増設を行う。施設は、近隣市町との共同利用とし、病児保育サービスの拡大を図る。管内に2か所の病児保育事業の設置は県内初

- ◆ **私立保育園整備補助金** 【臨時】 2億3,140.1万円 《民生費》
私立保育園及び認定こども園保育所機能部分の新規・増改築整備等に対し、厚生労働省の保育所等整備交付金事業に沿って補助事業を行う。

対象園： 長寿保育園 大山田北保育園 ゆい保育園 その他14園

- ◆ **大山田東小学校校舎増築事業費** 【継続】 4億2,506.1万円 《教育費》
住宅団地開発等により児童数の増加が続く大山田東小学校の教室不足に対応するため、閉園した幼稚園舎を取り壊し、その敷地に校舎を増築することで、教室の確保を図る。

5 世界に向けて開かれたまち

- ◆ **ポストジュニア・サミット推進事業費** 【新規】 70.4万円 《総務費》
ジュニア・サミットを契機に、国際化の気運が高まったことから、国際的な感覚を醸成するための交流事業を実施する。

- ◆ **国際観光まちづくり事業費** 【新規】 485.9万円 《商工費》
ポストジュニア・サミット事業のひとつとして、海外からの滞在型産業観光旅行を推進し、市内での滞在と消費を促進し地域の活性化を図る。

また、市内企業に優秀な人材を確保できるよう、企業情報を官民連携で市内外に発信する。

- ◆ **MICE等誘致推進事業費** 【新規】 126.5万円 《商工費》
ポストジュニア・サミット事業のひとつとして、MICE（国際会議等）を誘致し、市内の経済の活性化、ビジネスネットワークの構築を図る。

- ◆ **小学校英語コミュニケーション力育成事業費** 【新規】 314.2万円 《教育費》
小学校における外国語活動（英語活動）が円滑に進められるよう支援するとともに、児童が英語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うため、イングリッシュキャンプを実施するための費用を計上する。

6 地理的優位性を活かした元気なまち

- ◆ **桑名駅自由通路整備事業費** 【継続】 10億円 《土木費》
桑名駅自由通路・橋上駅舎化及び桑名駅東駅前広場を整備・再編することにより、交通結節機能を強化し地域交流の活性化と駅周辺における安全・安心を確保する。

【継続費設定】

- ◆ **土地区画整備事業費** 【継続】 16億8,927.9万円 《土木費》
桑名駅西土地区画整理事業の推進を図るため建物移転補償、道路整備他工事、事業推進化方策コーディネート業務委託費などを計上

- ◆ **道路ストック対策事業費** 【継続】 7,880 万円 《土木費》
計画的な維持管理のために実施した道路等の土木施設の総点検の結果等を受け、老朽化した土木施設を補修し、利用者の安全を確保する。

- ◆ **橋梁長寿命化対策事業費** 【継続】 3,250 万円 《土木費》
橋梁の長寿命化と維持管理費用の縮減のため、致命的な損傷が顕在化し、機能不全に陥る前に予防的な補修を実施し、利用者の安全を確保する。

- ◆ **北勢線運営支援事業費** 【継続】 1 億 788.2 万円 《総務費》
北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。

- ◆ **養老線運営支援事業費** 【継続】 7,690 万円 《総務費》
養老線を運営する養老鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。
また、平成 29 年 2 月に設置された養老線管理機構への負担金を新たに計上する。

7 桑名をまちごと「ブランド」に

- ◆ **ブランド推進事業費** 【継続】 476 万円 《総務費》
桑名に訪れたい、住みたい、住み続けたいと思う人を増やすため、本市が有する地域資源の魅力や価値を学ぶことができるプログラム、イベント等（桑名ほんぱく）を実施するとともに、これからの桑名の地域人材を育成する。また、写真コンテスト・作品展示の実施により、桑名の歴史・文化等の魅力発見や、「本物」の発掘につなげる。

- ◆ **中小事業者支援対策事業費** 【新規】 293.4 万円 《商工費》
中小・零細事業者等をより積極的・戦略的に支援するため、ビジネスサポート体制の充実を図る。
また、県産業支援センターと商工会議所、市の三者により常設の専門相談所として、「桑名市ビジネスサポートセンター」を新設する。

- ◆ **総合運動公園** 【継続】 1 億 94 万円 《土木費》
市の生涯スポーツの拠点として、総合運動の公園の整備を行う。
29 年度は、第二工区（サッカー場）の駐車場及びトイレの整備と第四工区（体育館、プール）の基本計画策定を実施する。

- ◆ **特別展示費** 【継続】 398.3 万円 《教育費》
平成 29 年が大政奉還 150 年にあたることから京都市・会津若松市など他都市と連携し幕末の桑名藩に関する展覧会を実施し、「ホンモノ」からふるさと桑名への愛着を深め、あわせて全国から集客を図り桑名市のブランド推進を図る。